

(別紙5)

整理番号 2018P-115
補助事業名 平成30年度実践的研究を通じた人間力育成支援活動補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高校生を対象に、地域の社会資源である「商店街」に介在する人材や資材をいかして通年型社会教育プログラム「クリエイトまち塾」を実施する。学びと実践を両立するプログラムと並行し、商店街を学校に見立て、少人数の高校生に担任として商店主を配置し、1年間まちづくりに取り組む。

プログラムを通じてキャリア教育をはじめとする社会教育を展開し、地域愛着を深めるとともに主体性ある次代を担いうる人材を育成する。

(2) 実施内容

<http://www.aocre.com/2018jka.html>

地域の高校生と商店主が一丸となり、1年間かけてまちづくり活動を実施する「クリエイトまち塾」を2017年4月～2018年3月まで開講した。クリエイトまち塾では、商店街に商店主(担任)、地元学生(副担任)各1名と高校生8名程度により編制される「クラス」を5つ設置し、商店街関係者や地元学生の指導のもと、月1回の「講義日」と随時「実践活動」を行った。また、2018年3月にはクラス単位で成果発表と企画提案を行った。

【ホームルーム活動】

企画提案は「商店街が社会を変える方法」をテーマとし、商店主との対話や活動を通じて、自らの興味分野を深めたり、課題意識を持ってもらうことで、企画提案を通じて主体的な学び(アクティブラーニング的学び)を実施した。



(別紙5)

【講義】

企画提案のテーマである「海とまちづくり」にまつわる講師を招聘した。地元むつ湾の環境保全活動に取り組む方や、全国の海辺づくりをサポートしている海洋環境専門家、まちづくりの視点から地元出版社の編集長やクリエイターなどに、高校生に向けた講義を展開していただいた。



【実践活動】

いくつかの実践テーマに分割し、高校生が主体的にまちづくりに取り組んだ。高校生が、店主やスタッフである大学生などと連携し、能動的に通年でのまちづくり活動を実践した。



2 予想される事業実施効果

プログラムを通じてキャリア教育をはじめとする社会教育を展開することによって、所期の目的である「地域愛着を深めるとともに主体性ある次代を担いうる人材の育成」をおおむね達成できた。

また、まちづくりの若い担い手の育成に寄与することができたものと評価する。クリエイトまち塾を通じて、まちづくり関係者と高校生のネットワークが形成され、事業終了後も継続的にまちづくりに参画できる環境が整った。

対象者である高校生に対しても地域愛着と地域理解を深めることができたとアンケ

(別紙5)

ート等により評価できる。このほか、地域で活躍する担任・副担任を間近に見ることで進路目標を明確にしたメンバーもいた。

また、青森大学と連携し、地域との関係が希薄であるといえる地元大学生にも参加してもらった。取り組みに参画し様々な課題に直面、解決に挑むことで、地域理解と彼ら自身の成長にも寄与できたものとする。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.aocre.com/seika2018.html>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト

住 所： 青森県青森市新町2丁目6番27号

青森市新町商店街振興組合内

代 表 者： 理事長 久保田 圭祐 (クボタ ケイスケ)

担 当 部 署： 事務局

担 当 者 名： (代表者に同じ)

電 話 番 号： 017-775-4134

※「クリエイト事務局」とお申し付けください。

F A X： 017-775-4193

E - m a i l： office@aocre.com

U R L： <http://www.aocre.com/>